

産業競争力強化対策特別委員会記録

1 会議の日時	令和4年5月12日 開 会 午前 9 時 57 分 閉 会 午前 10 時 31 分	
2 会議の場所	第1会議室	
3 出席者	委 員	委員長 岩井 豊太郎 副委員長 田中 勝士 委員 伊藤 正博 渡辺 嘉山 小川 恒雄 松村 多美夫 佐藤 武彦 広瀬 修 恩田 佳幸 山内 房壽 安井 忠
	執 行 部	別紙配席図のとおり
4 事務局職員	主 査 柘植 健太 主 事 熊澤 彩乃	

5 会議に付した案件

件名	審査の結果
1 令和4年度重点調査項目等について	原案通り
2 令和4年度所管事務事業の説明聴取について	
3 令和4年度委員会活動について	正副委員長に一任
4 その他	

6 議事録（要点筆記）

○岩井豊太郎委員長

ただいまから、産業競争力強化対策特別委員会を開会する。

最初に、当委員会の運営について、委員会が所管する特定分野の中から、テーマを絞り込んだうえで、正副委員長の主導のもと、調査検討を行うものである。当初、令和2年度までの2年間を目途に委員会として一定の提言を行うことを目指すこととしていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、視察を始めとした調査が十分できない状況にあることを踏まえ、調査期間が4年程度に延長されたところである。委員の皆様におかれては、積極的なご審議をお願いする。

さて、本日の委員会は、当委員会に調査を付託されている「産業競争力強化対策」に関する事務事業について、執行部の説明を聴取するため、開催したものである。

初めに、当委員会の「本年度の重点調査項目」については、5月10日に開催された正副委員長会議において、お手元に配布した会議資料「別紙」のとおり、「産業競争力強化対策の推進に関すること」に決定されたので、ご承知おき願う。

次に、本年度の具体的な調査項目についてであるが、お手元に配付してある資料のとおり、「県内産業における生産性向上及び高付加価値化に関する調査」並びに「多様な人材の活躍に関する調査」について、参考人招致や先進地視察を積極的に行い、調査していきたいと思うが、いかがか。

（「異議なし」の声あり）

○岩井豊太郎委員長

意見等もないようなので、本年度は、案のとおり調査していくことに決定した。それでは、重点調査項目を踏まえ、調査項目にかかわる所管事務事業について、執行部より説明願う。また、執行部の紹介もあわせてお願いする。なお、本日の説明員の出席については、調査項目を担当する部局に出席いただいていることをご了承願う。質疑は説明終了後をお願いする。

（執行部挨拶・紹介 崎浦商工労働部長）

（執行部説明 富田商工労働部次長）

○岩井豊太郎委員長

ただいまの説明について、質疑はないか。

○小川恒雄委員

説明資料の中には男女参画の項目が一つしかないが、産業競争力を強化していくには、男性だけではなく女性の力が必要であるため、そのような姿勢を少しでも持ってほしい。

○崎浦商工労働部長

子ども・女性局内の男女共同参画・女性の活躍推進課において様々な方面から女性の活躍に関する事業を実施しているため、情報を共有しながら連携していく。

○伊藤正博委員

宇宙関連事業を牽引する人材の育成について、詳しく内容を聞きたい。

○中谷航空宇宙産業課長

県内工業高校生が、岐阜大学・岐阜高専の先生方の指導を受けながら、数年後に観測機能を持たせたキューブ型の人工衛星を打ち上げる「ぎふハイスクールサットプロジェクト」を立ち上げたところ。このプロジェクトにおける実践的な経験を通じて、早い段階で高度宇宙技術者の育成を目指している。

また、岐阜大学と連携して従来から行っている「宇宙工学講座」では、工業高校生に限らず、普通科高校の生徒も含めて募集し、年間を通じて学習していただいている。

○伊藤正博委員

「ぎふハイスクールサットプロジェクト」に参加する学生は何人か。

○中谷航空宇宙産業課長

各校4～6人ぐらいの学生に参加いただき、学校ごとの強みを生かして、打上げや計測に関する事など役割を分担して取り組んでいる。

○伊藤正博委員

現在高校3年生の学生が、卒業後もプロジェクトに関われるような仕組みにしてほしい。

○中谷航空宇宙産業課長

別の事業において、県外の大学に進学した岐阜高校や岐阜工業高校などの卒業生が岐阜県に戻り、岐阜工業高校の生徒に対して自身の経験について語っていただいたり、一緒にワークショップを行うなどの取組みも進んでいる。「ぎふハイスクールサットプロジェクト」においても、既に岐阜高専の生徒及び卒業生にオブザーバーになっていただくなどの工夫をしているので、卒業後の学生も参画できるよう工夫していきたいと考えている。

○伊藤正博委員

空宙博における新たな教育プラットフォームの構築について、詳しく内容を聞きたい。

○中谷航空宇宙産業課長

小学生には、事前学習をしたうえで当日の見学を行っていただいているが、学習用資料は紙媒体となっている。コロナ禍でタブレット端末等の機器が充実していることなどから、資料を電子化してより学習しやすくしたいと考えている。

また、紙飛行機教室等の人気イベントについては、一部を映像化・デジタル化していきたいと考えている。

○松村多美夫委員

高齢者の社会参加促進に関連し、役員の担い手確保に苦労している老人クラブに対して、デジタル機器の研修会への助成等といった支援はないか。

○深見高齢福祉課高齢者生きがづくり推進監

今年度から新たに、県老人クラブ連合会がデジタル機器を活用した事務作業効率化を支援する「事務お助け隊」を市町村の老人クラブに派遣する取組みに対して、県として助成することとしている。

○松村多美夫委員

就職氷河期世代の正規雇用促進に向けた奨励金の内容は。

○広瀬労働雇用課長

県内に居住している就職氷河期世代で、無職の方または県内事業所に在籍している非正規社員を、本年4月1日以降に正社員として採用または正社員に転換した中小企業の事業主に奨励金を支給する。奨励金は一人あたり10万円で、120人分を積算している。この人数は、他県の状況や、労働局の就職氷河期世代に限定しない助成金の実績等を参考にしている。

○松村多美夫委員

農畜産物のブランド力の向上のうち気候変動に適応した新品種の開発について、特にどのような品目に力を入れていくのか。

○幸畑農政課長

新品目の開発については中長期的に考えており、温暖化による害虫被害の増加や長雨等の影響に対応するため、米の品種改良等に取り組んでいきたいと考えている。

○松村多美夫委員

温暖化の影響を受けるとされる他の果樹や野菜などについても新品種を考えていただければと思う。

○岩井豊太郎委員長

質疑も尽きたようなので、これをもって、所管事務事業の説明聴取を終了する。次に、「令和4年度の委員会活動について」であるが、特別委員会の視察については、お手元に配付してある「委員会視察要領」、「委員会視察に関する申し合わせ事項」のとおりである。視察先等については、必要性を十分に勘案し、委員をはじめ、関係者と調整のうえ、決定していきたいと思う。詳細については、正副委員長に一任願いたいと思うが、これに異議ないか。

(「異議なし」の発言あり)

○岩井豊太郎委員長

意見もないようなので、これをもって、本日の委員会を閉会する。

産業競争力強化対策特別委員会

令和4年5月12日(木) 10:00~
議会西棟3階第1会議室

